

整備事業評価書

県名	政策目的	事業実施地区数 ア	評価対象外地区数 イ	評価対象地区数 アイ	成果目標の平均達成率	都道府県が事業実施主体へ改善指導を必要とした地区数	地方農政局等から都道府県計画の改善指導の必要の有無	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
岡山	産地競争力の強化	1	0	1	99.6%	0	無	県平均達成率は、99.6%と概ね達成した。	評価対象となる1地区について、成果目標の平均達成率は99.6%となっており、概ね達成であった。
広島	産地競争力の強化	1	0	1	7.8%	1	有	県平均達成率は7.8%と未達成となった。 未達成の主な要因は、主力品種であるつきあかりで豪雨や適正なタイミングでの施肥ができなかったこと等による倒伏がみられたことから、計画どおりに品種転換が進まなかったためである。今後、JA等の関係機関と連携し、倒伏対策の技術指導を行い、目標達成に向けて支援する。	評価対象となる1地区について、成果目標の平均達成率は7.8%となっており、未達成であった。 未達要因は、主力品種における倒伏等により品種転換が計画どおり進まなかったことによるものと思われる。 達成できなかった目標については継続的な改善措置を依頼する。
山口	産地競争力の強化	2	0	2	100.0%	0	無	県平均達成率は100.0%と達成となった。 しかしながら、生産量は当初計画に達していないことから、引き続き関係機関と連携しながら栽培管理指導を行い、生産量向上を図る。	評価対象となる2地区について、成果目標の平均達成率は100.0%となっており、達成であった。
徳島	産地競争力の強化	1	0	1	50.0%	1	有	県平均達成率は、50.0%と未達成となった。 未達成の主な要因は、高温や虫害による品質低下や取引先の取扱中止による加工業務用の取扱量の減少であることから、今後は、目標達成に向け、適切な栽培管理や積極的な販路拡大を行うよう指導する。	評価対象となる1地区について、成果目標の平均達成率は50.0%となっており、未達成であった。 未達要因は、高温や虫害による品質低下等によるものと思われる。 達成できなかった目標については継続的な改善措置を依頼する。
香川	産地競争力の強化	1	0	1	53.8%	1	有	県平均達成率は53.8%と未達成となった。 未達成の主な要因は、全国的な野菜価格の高騰から上位規格品の需要が減少したため上位規格品割合の増加が未達成となり、県平均達成率は未達成となった。このため、事業実施主体に対して、出荷量を確保し新たな販路の確保のため、農地集約・集積の取組支援及び病害虫防除を含む栽培指導を行うことで目標達成をめざす。	評価対象となる1地区について、成果目標の平均達成率は53.8%となっており、未達成であった。 未達要因は、全国的な野菜価格の高騰により上位規格品の需要量が減少したこと等によるものと思われる。 達成できなかった目標については継続的な改善措置を依頼する。
高知	産地競争力の強化	1	0	1	86.0%	1	有	県平均達成率は86.0%と未達成となった。 未達成の主な要因は、ニラの定植時期の高温障害等であることから、今後は、関係機関と連携し、定植時期の見直しや、定植初期の管理の徹底等の指導を行い、成果目標達成に向けて支援していく。	評価対象となる1地区について、成果目標の平均達成率は86.0%となっており、未達成であった。 未達要因は、定植時期の高温障害等によるものと思われる。 達成できなかった目標については継続的な改善措置を依頼する。